

学校図書館支援センター通信 NO.146

令和2年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

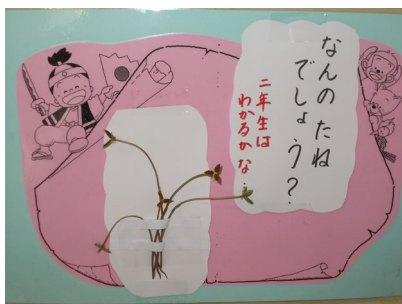
ソーシャルディスタンスを保ちながらの学校図書館運営



7月の学校図書館訪問にて ～各学校の取組を紹介～

毎年、指導課が行っている学校図書館訪問に、学校図書館支援センター事業担当者も同行し、各学校の学校図書館運営の様子を見学しています。今年度は、児童生徒が安心して学校図書館を利用できるように、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策を各学校の実態に合わせて行っています。7月は、15校の小・中・特別支援学校を訪問してきました。今回は、学校図書館の環境づくりを中心に訪問先の取組について紹介します。

入口掲示の工夫



すみれの実から種が飛び出す
様子がよくわかります。

【大和田小学校】

学校図書館の入口の扉に、学校司書が用意した「すみれの実」が飾られていました。小学校2年生の国語科の教材に「すみれとあり」という説明文が掲載されています。実物を見ることで、子供たちの興味がさらに高まり、学校図書館へ足を運ぶ楽しみにもつながっているようでした。



【鶴指小学校】

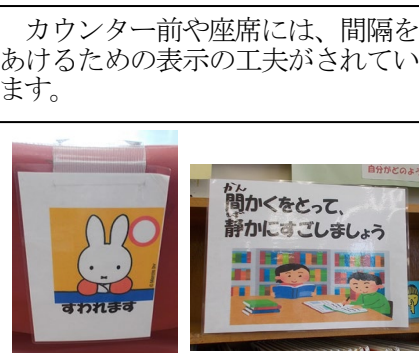
子供たちや先生方が学校図書館に興味を持てるように、掲示を工夫していました。学校図書館の中へ入ると、「第一図書館の案内図」があり、どこにどのような図書が置いてあるかがわかるようになっています。



《掲示物の工夫》



【第六中学校】



【新井小学校】

おすすめの本が紹介されているそばに、手洗いを促すための掲示もしていました。



【南行徳小学校】



【鶴指小学校】



【鬼高小学校】

大きなスクリーンに映し出して、読み聞かせを行っています。このような工夫をすることで、3密を避けて読み聞かせを行うことができます。大型提示装置を利用して、行っている学校もあります。



【第八中学校】

用務員の方が仕切りを作成してくれたそうです。複数の学校でこのような対策が見られ、安心して、利用できるようになっています。様々な職員の協力のもと、学校図書館の環境が整えられています。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

親しみやすく、わかりやすい見出しの工夫



【第二中学校】

「日本文学全集」が並ぶ書架の上には、近代文学の作家のイラストが並んでいました。また、見出しにも同じイラストが描かれ、親しみやすい書架となっており、近代文学がより身近に感じることができます。



【平田小学校】

図書に貼っている背ラベルと同じラベルが貼ってあり、親しみやすさに加え、返却しやすい工夫がされていました。



【鬼高小学校】

離れた場所からでも一目でわかる見出しでした。4類の見出しには、赤丸に記しているように、十進分類法の4桁目も記載することで、子供たちも意識して返却することができ、整理された書架になっていました。



開くと・・・

中山小では、「読書の記録」に10冊分を書いて、記録用紙がいっぱいになったら、スタンプをもらい、貸出カウンター横の宝箱からプレゼントを取ることができます。

昨年度までは、「シール2枚」「しおり」「3冊から5冊まで借りられるカード」の中から選ぶことができました。今年は、コロナ禍対策として「3冊から5冊まで借りられるカード」をお休みし、貸し出しは一人2冊までとしました。

そのかわりに、今年から『個人用の貸出カード』を作ってもらおう券を加えました。この「個人貸出カード」は、昨年度、中山小の学校図書館で本をたくさん借りた人ベスト30人にプレゼントしたものです。子供たちに大変好評だったので、他の児童にも渡せるように「個人貸出カード」を作ってもらおう券を宝箱に入れました。

【市川市立中山小学校 学校司書 小山 敬子】

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

